

波佐まちづくりセンターの新たな取組

事業名

無償ボランティア移動支援事業

P 事業の目的（解決を目指す課題）や見込まれる成果

波佐・小国地区の福祉・医療・介護の課題検討から発足した「波佐・小国地域医療等課題検討協議会」において、高齢者等の交通・移動・外出の不便問題について検討され、従来の公共交通を補完し（波佐地区のみ）、地域の助け合いにより、安心して暮らせる支援体制の構築を図ることを目的として、無償ボランティアでの輸送サービスの提供を開始した。

D 事業の概要

- ・運行日 : 週3日（火・木・土、ただし診療所の休診日を除く）
- ・運行範囲 : 波佐地域（利用者の自宅から診療所・金融機関・商店の往復）
- ・ドライバー : 地域の志願者（65歳から75歳の5名）
- ・事務局 : 波佐まちづくりセンター職員（3名）
- ・利用者 : 交通手段を持たない住民
- ・工夫 : 利便性の拡大をした（目的地の追加）
当初、波佐診療所を目的地として開始したが、利用者の意見等により金融機関を目的地とすることで利用者が増えた。
- ・課題 : 高齢化によるドライバーの確保や、積雪がある地域であるため、対応できる車両の確保や安全面が課題となっている。

C 課題の解決度合（10段階の自己評価）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

| | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|---|--|--|
| | | | | | | | | ○ | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|---|--|--|

上記評価の理由

発足当初、目的地は診療所のみであった。
利用者からの意見を取り入れ、目的地（金融機関・商店）を広げたことで、利便性が向上した。

A 事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと（評価を10に近づけるために）

- ・余裕のあるドライバー数の確保。
- ・積雪が多い時季の安全な運行。

